

啓蒙地区の誇り

歴史と伝統を大切に、人を繋ぐまち「啓蒙」

初代福井藩主結城秀康や芝原用水など地域の歴史を住民に知ってもらうにはどうしたらよいか。その思いから平成23年に立ち上げた子ども劇「啓蒙キッズ」。「福井学」推進事業として募集、地元の小学生をはじめ、脚本・監督・美術もすべて地区住民。毎年10月の地区文化祭で披露し、今では目玉の一つとなっている。今年は劇中のよろい・かぶとづくりも郷土学習として開始。地区有志を募り、材料も住民から提供いただいた帯や着物などを使用。子どもの劇練習と並行して、大人も悪戦苦闘しながらよろい・かぶとを完成させ、本番に華を添えた。



公民館前の休耕田を平成24年から花壇として活用。花壇名は地区から募集して、「啓蒙ふれあいわくわく花だん」と名付け、色とりどりの花が咲いている。年2回の植え替え時には市民憲章郷土美化部を中心に子どもから大人までが参加し、花を育てている。

伝統野菜「新保ナス」を活かそうと、郷土学習で郷土料理の実習を推奨。後継者不足で一度途絶えた「新保ナス」の美味しさを継承するため、ナスの「田楽」や「からし漬け」はもとより、「コンポート」などの新しい料理にも挑戦している。



啓蒙公民館 館長 佐々木 昭博さん

平成27年から現職。「水と緑が豊かで安全安心な啓蒙地区。多くの地区住民を巻き込みながら、歴史と伝統を伝え、地区の活力を大きく膨らませる活動を推進していきたい」と話す。

啓蒙公民館

住 所／福井市開発1-2105

電 話／0776-54-0046

交通機関／えちぜん鉄道「越前開発駅」から徒歩5分